

お出かけ志縁隊

ひきつ
(引津校区自主運行バス)



いとゴン
(糸島市のイメージ
キャラクター)

取組のきっかけ、経過

社会福祉法人志摩会の公益的活動は、いずれも地域づくりに向けた取組と制度の狭間にある課題に対応する取組の2つの視点に整理できる。まずは地域に顕在・潜在するこれらの実態の情報を把握することを大切にしており、その手法はアウトリーチを意識している。施設・在宅を問わず、職員が地域の住民や介護現場での利用者、家族との何気ない会話を生活上の困りごとや地域課題等に整理翻訳して、経営会議のなかで報告することを通して、活用できる制度やサービスが無ければ職員有志による地域貢献活動チーム(志縁隊)によりこれらのニーズに対応する支援を行ってきた。以前から、志摩地域では個人商店の廃業やJA購買店の統廃合が進み、路線バスのルート縮小なども重なり、食料品はじめ、日常生活用品の購入や医療機関受診等にも困っているという声が多くなっていた。

平成27年度の地域ケア会議において、同様の問題があがっており、せいかつ志縁隊による生活ニーズ調査においても、前記の課題があることを把握。糸島市では、「自主運行バス事業」を他圏域の2校区で先行実施していたため、法人が所在する志摩圏域で運行が出来ないか糸島市に問合せを行った。車両や燃料費などは糸島市で提供できるが、運転手などは校区自主運行バス協議会で確保することになっており、それがボトルネックとなって、校区は躊躇している状況であった。そこで、志摩会を中心に地域住民や近隣の他の社会福祉法人に協力を取付け、担い手問題はとりあえずクリアできた。

平成29年10月に試験運行を開始し、1便当たり平均4名の利用があったことから、平成30年2月に本運行へ移行となった。

取組内容

毎週火曜日と金曜日の午前・午後で各1便運行し、日常生活上必要な場所へ「つなぐ」役割を果たしている。既存の路線バスやJA買い物バスの営業には支障を来たさないよう配慮しながら、これらのバスとの連続的かつ効率的な運行ルートを構築している。

利用定員としては8名(運転手と補助員を除く)であるため、乗車には予約が必要だが、市の助成により運賃は無料である。

運行体制として、運転手・補助員は現在一般ボランティア5名と社会福祉法人の職員で確保しており、運行ルートによって多少異なるが、概ね1便あたり3時間程度が従事する時間となっている。

また、2019年8月より、買い物場所に加えて、通院のためのルートを開設し、充実が図られている。

受付窓口、乗務シフトの作成、乗務の調整などについては志摩会が担当し、運行については志摩会、たちばな福祉会と福岡愛育福祉会の3つの社会福祉法人が連携して行っている。



2017.10.10 出発式と初代ひきつ



2代目ひきつ号と志縁隊スタッフ



お買い物から帰って来ました

取組による効果や課題

(1)効果

- ① 糸島市には別荘地が点在しており、これらの地域は行政区に未加入が多く、当該地域に居住される(独居)高齢者等の生活状況の把握が困難であったが、自主運行バスはこれらの方たちの利用も多く、なじみの関係を構築していく過程で支援が必要な方たちの情報もキャッチできるようになった。その情報を(本人の同意のもと)地域包括支援センターをはじめ関係機関に提供し、共有することで、日常的な見守り(安否確認)を含め、適宜幅広い支援が可能となっている。
- ② 路線バスの停留所まで数km離れている居住者にとって、自主運行バスの停留所は家の近くに設定できるため利便性が大きく向上した。その感謝の言葉が自主運行バスに係るスタッフのやりがい、モチベーションアップに寄与している
- ③ 下肢機能の低下や片麻痺がある高齢者、障がい者でも、乗降補助スタッフが付き添うので安全に利用できる。
- ④ 認知機能の低下があり、第三者の見守りが必要な方も志摩園スタッフが乗務する日を調整することで利用に結びついている。
- ⑤ 乗車定員に余裕があれば観光客等の利用もできる。

(2)課題

- ① 移動が車いすレベルの方の乗降が困難である。
- ② 季節や天候次第ではドアツードアが望ましい時もある。
- ③ 姫島(離島)住民の利用への便宜(フェリー到着と自主運行バス発着時間の連絡の調整が難しい)。
- ④ 運転者、乗降補助者がまだ不足しており、特定の個人や団体に負担がかかることがある。

実施データ	理事長コメント
実施の方法／ <input type="checkbox"/> 法人独自 <input checked="" type="checkbox"/> 複数法人連携 実施対象／ <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民一般 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者 <input checked="" type="checkbox"/> 児童 <input checked="" type="checkbox"/> 生活困窮者 実施頻度／毎週火曜・金曜日、午前・午後各1往復 活動実績／H30年度:203回(運行回数) 1,148人(利用者数) 活動者数／406人(うち、法人職員参加158人) 参加者内訳／生活相談員・機能訓練指導員 介護支援専門員・介護職員 一般ボランティア	引津校区は市内でも最も高齢化が進んだ地域であり、公共交通網の縮減地域です。更に高齢者事故の多発で免許返納等を進める機運が高まり、ますます交通弱者にとって外出、移動の確保はQOLの維持・向上に不可欠になっています。これを個人の責任と捉えず社会的課題と考え、既存の制度も活用して支援しています。活動の理念は「志摩園はもっと外に出よう、地域の中に中によいよう、個性を發揮しよう」です。



黒澤 明 理事長

法人概要



法人名／社会福祉法人志摩会
 所在地／福岡県糸島市志摩久家2527番地2
 事業内容／介護老人福祉施設・短期入所生活介護・通所介護・
 認知症対応型通所介護・小規模多機能型居宅介護・
 居宅介護支援事業・介護予防支援事業・障害福祉
 サービス事業、配食サービス、地域包括支援センター
 掲載している以外の取組／オレンジ・げんき・せいかつ・お祭り・
 よか志縁隊、認知症カフェ、地域カフェ、居場所づくり等
 職員数(パート含む)／164名※(2019年)